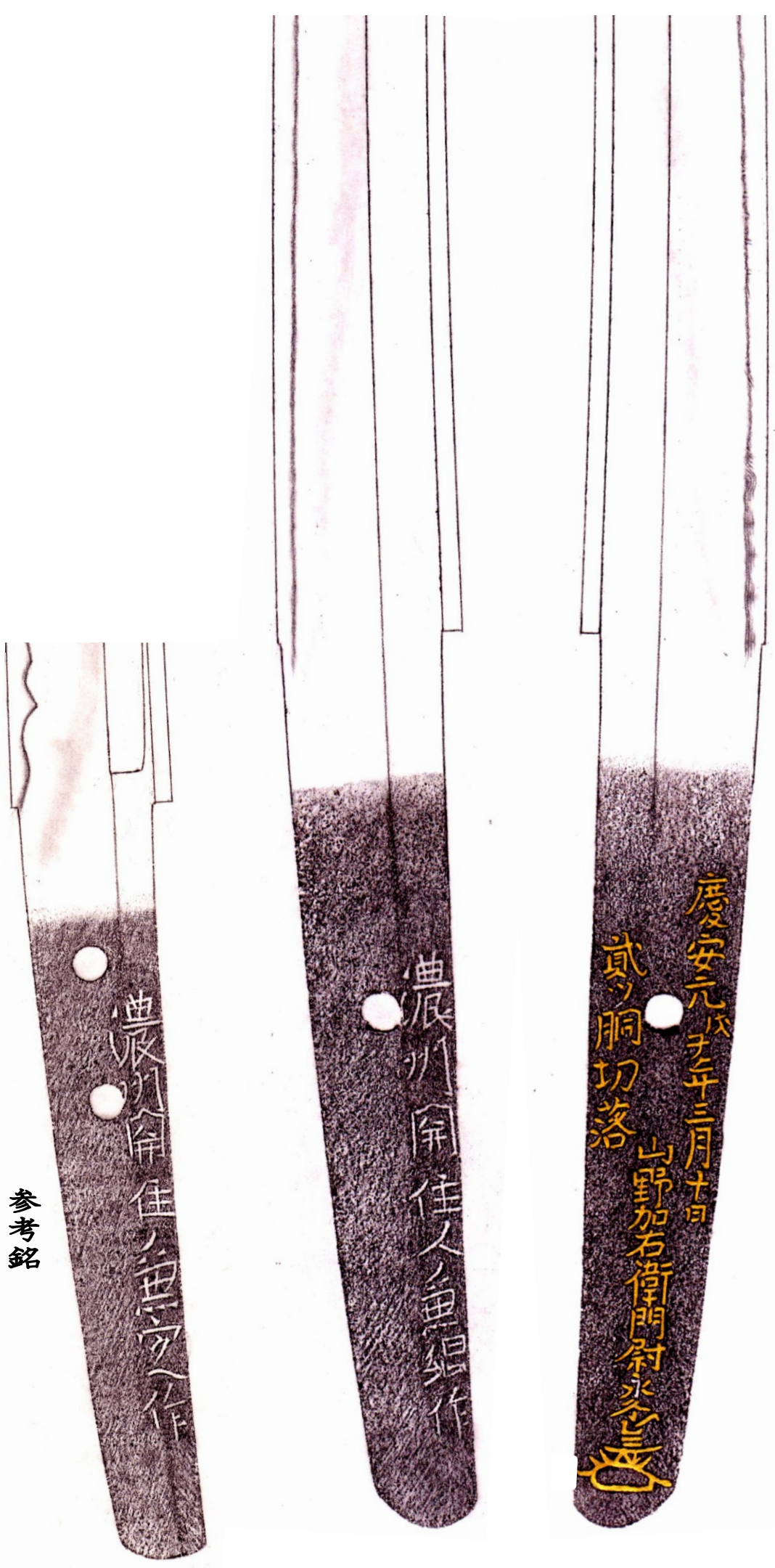
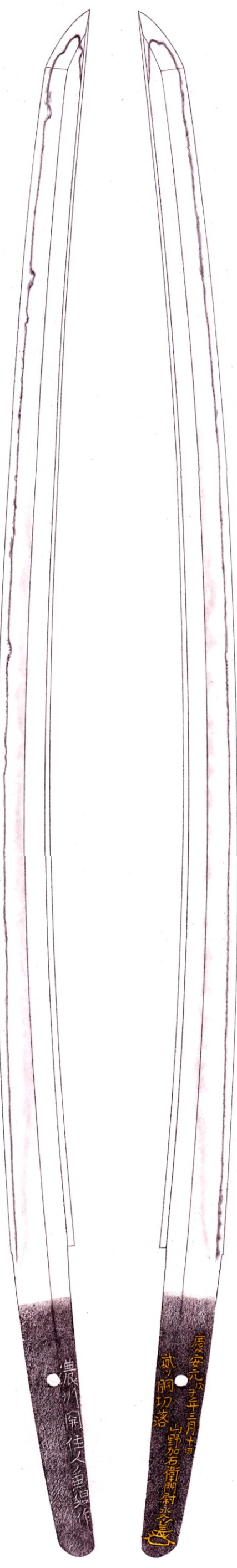


刀銘 濃州閑住人兼綱作 (金象嵌銘) 慶安元戊子年三月十日貳ツ胴切落 山野加右衛門尉永久 華押

刃長 662mm 反り 17mm 元巾 31.3mm 元重 6.0mm 鎬重 6.9mm

鎬造り、やや低めの庵棟、鎬幅広く鎬高く、平肉付く。鍛え板目、棟寄り鎬地は大板目が肌立ち、刃寄りは流れ柁となって詰み、乱れ風に映り立つ。刃文は直刃を基調に節刃を交え、刃淵にほつれところがある。帽子表は地蔵、裏は中丸に先小節が付き、僅かに沸づいて掃き掛け気味。茎、生ぶながら若干区を送る、先刃上がり栗尻、茎棟中肉、刃方面取り、鑢目鷹羽、棟鑢は筋違い。第四十四回重要刀剣。



参考銘